

# 令和5年9月度夢甲斐塾運営会議議事録

開催日時：令和5年9月5日(火) 19:30~21:00

会場：地域コミュニティ広場 花水木 + オンライン(ZOOM)

参加者(会場)：入倉塾長、仙洞田塾頭、柴田副塾頭、松田副塾頭、酒井事務局長、  
久保田事務局次長、厚芝幹事、雨宮幹事、青柳夢甲斐フェスタ実行委員長、  
飯島24期生募集委員長、佐藤21、三枝22、網倉23、新谷23、中野23

参加者(ZOOM)：加藤13、加藤15、三好22

※過不足がありましたら申し訳ありません。

(名前の後ろの数字は期を表す。名前に重複がない者は、以降役職と数字を省略。  
同期で名字に重複がある者も、出席者内で重複がない場合は下の名前も省略。)

司会：酒井事務局長

議事録：酒井事務局長

## 《項目》

- 0. はじめに
- 1. 8月塾生例会 [22期主催/23期必修] の結果
- 2. 9月塾生例会 [22期主催/23期共催] の結果
- 3. 10月塾生例会(合宿例会) [22期主催/22期生お世話係・20・23期共催] の進捗
- 4. 11月塾生例会(夢甲斐フェスタ) [実行委員会主催/16・20~23期共催] の進捗
- 5. 8月22期生塾長例会 [22期主催] の結果
- 6. 22期度パンフレット [22期担当] の結果
- 7. 22期生の活動状況報告
  - 防災イベントについて
  - 7月塾生例会と12月塾生例会について
- 8. 8月23期生修理固成研修 [23期主催] の結果
- 9. 23期度パンフレット [23期担当] の進捗
- 10. 23期生の活動状況報告
  - 市民フェスタについて
  - ミーティングについて
- 11. 各部会 [各部会の部会長主催] の報告
  - 道徳部会
  - まちづくり分科会
- 12. 郷育フォーラム
- 13. 国家百年の計の会の結果
- 14. その他
  - 第2回 自然に還ろう
  - 夢甲斐クリスマス会について

## 《概要》

### ■ 0. はじめに：酒井

今回から、結果報告は、質問や相談など特に共有が必用なことがない限り、30 秒程度にまとめて、あとは資料をご一読くださいという感じですのでおすすめです。

### ■ 1. 8 月塾生例会 [22 期主催/23 期必修] の結果：三好

-----配布資料：R050905 夢甲斐塾運営会議資料 01\_22 期資料. PDF P1-----  
資料第 1 - 2 項に沿って説明 参加人数は 5 名。

### ■ 2. 9 月塾生例会 [22 期主催/23 期共催] の結果：三好

-----配布資料：R050905 夢甲斐塾運営会議資料 01\_22 期資料. PDF P1-----  
資料第 1 - 3 項に沿って説明 参加人数 6 名。  
スウェーデントーチを渡し忘れたので合宿例会で渡す。

所感：

入倉：素晴らしい内容だったので、参加者が少ないのが勿体なかった。

修理固成研修：課題本感想発表について：新谷

23 期生の参加者が私 1 人だったので、事前に 2 人から受け取った感想文を発表して、それに私が感想を述べる形をとった。

### ■ 3. 10 月塾生例会(合宿例会) [22 期主催/22 期生お世話係・20・23 期共催] の進捗：三枝

-----配布資料：R050905 夢甲斐塾運営会議資料 01\_22 期資料. PDF P1-----  
資料第 1 - 4 項に沿って説明

明日 22 期のミーティングを開催して詳細を詰める。詳細は決まり次第告知するので、各期の皆さんは連絡係を通じて参加者を募って欲しい。特に 23 期生には沢山参加して欲しい。2 日間丸々参加できない方も、何処か一部分だけでも参加を。

補足説明：

酒井：旧三富小学校という廃校になった小学校の体育館を使って実際に避難所体験を行うというなかなかできない体験をできる貴重な学びの場になる。講師の糞土師の方は人間の営みと自然の循環に対する想いの大変強い方だが、ご高齢のため最後になるかもしれない貴重な講演。防災の山下先生は日本屈指の防災の専門家。大変貴重な学びの機会になるので、皆さん、是非参加を。

入倉：合宿例会は通常の例会と比較にならない程やる人が多いので、23 期生は参加して見ておかないと来年自分達が実施する時に困ることになる。是非大勢で参加を。

■ 4. 11 月塾生例会(夢甲斐フェスタ) [実行委員会主催/16・20～23 期共催] の進捗：青柳  
-----配布資料：R050905 夢甲斐塾運営会議資料 02\_夢甲斐フェスタ資料.PDF-----  
資料に沿って説明

上甲先生は前日入り。前日の対応は入倉さんと仙洞田さんに依頼済。

当初は参加者 100 人を目標にしていたが、参加人数を目的にするのではなく、16～22 期（白倉塾長の教えを受けた期）が 1～15 期の先輩方に参加を呼び掛ける取り組みを重視して、参加人数はその結果と考えたい。

－昨年は 80 名集まったが、コロナ禍の影響でイベントリストに表明せずに訪れた塾生の入場を断ることになったため、これを避けるためにも参加人数を把握する形をとりたい。

追加報告：

雨宮：上甲先生の当日の宿泊は談露館を予約済み。

酒井：開催後の懇親会の担当は 20 期だが、おそらく気付いていないので、伝えておく。

依頼事項：

青柳：仙洞田塾頭に塾長 3 名のディスカッションでのコーディネーターを依頼  
柴田副塾頭に音響を依頼。会場は搬入用に前日から借りているので必用ならリハを。

質疑応答：

入倉：発表のフォーマットがあった方がいい。 →作る

仙洞田：推される人は 16～22 期が中心？ →16～22 期が 1～15 期を推す。

助言：

入倉：現役生が活躍するよう、役割分担に 22 期生と 23 期生を沢山入れるようにして欲しい。

青柳：22 期生は塾生例会で忙しいと聞いている。

入倉：事前ではなく、当日参加して出来る役割を割り振るとよい。

入倉：チラシに『夢甲斐フェスタとは』の説明と、開催のテーマを載せた方がいい。

例えば「夢甲斐塾の歴史の一場面に立ち会おう」などやや大げさなテーマがよい。

入倉：動員に仙洞田塾頭を据えてはどうか。

仙洞田：やるのはいいが、もう少し釣るフックが欲しい。

入倉：全国の実践活動を見てきている上甲先生に見て貰えることに価値がある。

更に、上位は本戦というか全国大会に出てもらうとか。

雨宮：参加者にも自分の志をカードか何かに書いて貼れる様にしたらどうか。

他の人の活動を観に行くだけでも学びになる。

入倉：1～21 期に連絡係を通して自分の期以外の誰かを推すように、依頼した方がよい。

青柳：検討する。

■ 5. 8月22期生塾長例会 [22期主催] の結果 : 三好

-----配布資料 : R050905 夢甲斐塾運営会議資料 01\_22期資料. PDF P2-----  
資料に沿って説明

■ 6. 22期度パンフレット [22期担当] の結果 : 三好

-----配布資料 : R050905 夢甲斐塾運営会議資料 01\_22期資料. PDF P1-----  
資料第2項に沿って説明  
あとは担当者がそれぞれ分担の協賛元を回る段取りになっている。

所感 :

酒井 : お礼状に「これから23期生が行くのでよろしく」という旨の文言が入っていた様なので、22期生は23期生が行く前に回れるように頑張ってください。

■ 7. 22期生の活動状況報告 : 三枝

● 防災イベントについて

-----配布資料 : R050905 夢甲斐塾運営会議資料 01\_22期資料. PDF P1-----  
資料第3項に沿って説明

9月17日(日)の防災イベントは救命救急士の資格を得られる。これは防災士の資格を取るために必須。また、知っているだけで救命の際に大変役立つので、興味のある方は是非参加を。締め切りが8月末になっているが、明後日参加人数を伝えるまでは間に合う。

● 7月塾生例会と12月塾生例会について

-----配布資料 : R050905 夢甲斐塾運営会議資料 01\_22期資料. PDF P1-----  
資料第1-5項と第1-7項に沿って説明  
23期生の皆さん、22期生は人が少ないので、お手伝いをお願いします。

補足説明 :

酒井 : 現在イベントリストには11月塾生例会が2つ登録されているが、夢甲斐フェスタが11月塾生例会で、もう1つは7月から延期されてきている7月塾生例会。

質疑応答 :

網倉 : お手伝いが欲しいというのは、どの塾生例会か。

酒井 : 研修中の塾生例会は興味のある例会を探して参加するのではなく、都合がつく限り全てに参加することを基本にして、都合がつかない時だけ欠席してください。

三枝 : 参加表明を見て、参加出来る人に役割をお願いしていくので、早めに表明を。

入倉 : それでは間に合わない。10名分の役割があるので、来てね。という順番で。

■ 8. 8月23期生修理固成研修 [23期主催] の結果 : 網倉

(資料なし)

6~7人集まって白倉先生の古事記の講義を受けた。古事記を知らない人が多く、色々な感想が出た。私は今後も楽しみで、出来る限り出席して講義を受けていきたい。

今後の開催日程は第3火曜日 20時~21時半。

感想：

中野：古事記の内容に、私達がどう考えたら良いかも絡めて教えてくれて、興味深く楽しく、勉強になった。

網倉：右回りと左回りのことと男の人女の人など、色々な話を聞いて楽しかった。もっと堅い話かと思っていたが漫画のイラストなどもあってわかりやすかった。

助言：

酒井：最終的に25期生の入塾式で劇を披露する課題が出ている。

欠席者は勿論、途中参加者もアーカイブを使えば最初から観られるし、出席した人も繰り返し観られるので活用を。

リアル参加が最も学べるので、花水木で開催できるように是非高出席率の維持を。

#### ■9. 23期度パンフレット [23期担当] の進捗：中野

(資料なし)

A4表裏に各会社のロゴとInstagramへ誘導するQRコードを載せるという案が出ている。応援して下さる会社と、各自の知り合いから1人3~4社集められたらと思っています。完成は10月末を目指して、11月の市民フェスタで配布できたらいいなと思っています。

質疑応答：

飯島：Instagramのない会社は？ →持ち帰って検討

助言：

入倉：11月5日(日)の夢甲斐フェスタでも配布するといい。 →持ち帰って検討

久保田：知り合いの会社に協賛のお願いに行く時には、まず夢甲斐塾を理解していただけるよう、よく主旨説明を。 →承知

#### ■10. 23期生の活動状況報告

##### ●市民フェスタについて：網倉

高松リーダーが申込を行ったところ。詳細は私達は把握していない。

助言：

酒井：担当者が来られない時には資料を準備するなど発表できる状態にしておくとうい。

補足説明：

雨宮：今年は11月19日(日)の1日だけの開催。

案内が来たのが8月のお盆前で締め切りが8月23日だったので、23期生には私から

投げて、高松さんと相談して書類を提出する所まで持っていったところ。

例年なら実行委員会が立ち上がるが、ボランティアセンターがどのような形で行う予定かも見えていない状況で、私達で高松さんと打合せしながらやっていく。

先輩塾生は出来るだけ顔を出すようにし、23期生は先輩に手伝ってもらおうといい。

酒井：元々は入塾して最初にやる事業として、県民の日記念行事内の市民活動交流フェスタ（市民フェスタ）へ協力して出店することを課題として科していて、ここで同期生の人となり理解しつつ、山梨県で市民活動をしている人達と交流するというものだったが、コロナ禍で休止して今年再開したので、20期以降は全く知らない状態。

そして、今年は案内から締め切りが短かったので課題として科さない予定だったが、23期のミーティングで何処かのイベントに出店したいという話になったので、市民フェスタを紹介したところ円滑に手続きまで進んだというのが、これまでの経緯です。

入倉：結構人が来るため儲けに目がいきやすいが、夢甲斐塾は志を軸にすることが大切。

例えば環境問題を意識するとか、県産食材に注目するとか、そういった視点が重要。

楽しむことも大切だが、そこに志があるとより達成感に繋がる。

久保田：市民フェスタの企画は市民活動をしている人達の集まる場所なので、商売よりも有意義な活動を、という感じになる。

#### ●ミーティングについて：中野

23期ミーティングは、毎月第4月曜日の19時から花水木さんで開催。

各自が出来る事とやりたい事を書き出して貼り出して相談し、志と夢と新たな経験を融合させることをしたいと考え、高校生や大学生を募集して、そのやりたいことを支援しながら、学び体験していく『夢甲斐予備校』みたいな形の例会をやりたい。先輩方にも協力していただいて、多くの選択肢の中からやりたいことを選べるようにしたいと考えている。

助言：

入倉：仙洞田塾頭は全ての塾生を知っているので色々な塾生を紹介してくれる。

是非声掛けをして、毎回ミーティングに参加してもらおうといい。

#### ■11. 各部会〔各部会の部会長主催〕の報告

##### ●道徳部会：柴田

（資料なし）

8月15日の終戦記念日に毎年山梨県護国神社で開催される山梨県戦没者慰霊祭に6名（白倉塾長、柴田部会長、酒井15、赤坂16、望月18、杉野21）で参列し、塾長と部会長の2名が拝殿内で国会議員や知事などと一緒に参列させていただいた。

##### ●まちづくり分科会：酒井

（資料なし）

第40回にじいろフードパントリー甲府朝日を8月21日(月)に開催し、44世帯169名の生活にお困りの方々に食料をお配りした。

次回9月18日(月・祝:敬老の日)に料理教室型こども食堂を開催予定。

## ■12. 郷育フォーラム：久保田

(資料なし)

9月16日(土)の子ども応援フェスタへ郷土教育団体ふるさと HOMARE として参画し、例年郷育フォーラムで夢甲斐塾が行ってきていた餅つき体験イベントを開催する。

有り難いことに23期生から餅米を、松田さんから餡子を提供していただき、順調に協賛が増えている。あとは僕の方できな粉と黒蜜を用意して信玄餅風にと考えている。

近くに稲積神社があるので協賛を依頼予定。チラシが沢山あるので配布に協力を。

補足説明：

酒井：8月31日(木)の郷育フォーラム実行委員会で、子ども応援フェスタ当日9月16日(土)は9時設営開始、9月15日(金)は18時前日設営開始。可能なら手伝いをとのこと。

## ■13. 国家百年の計の会の結果：酒井

(資料なし)

8月20日(日)東京立正中学高等学校で上甲晃名誉塾長が取り組む国家百年の計の会…国家百年の計を持つ政治家を育てるために、そういう政治家を押し上げていく有権者を育てていこうという活動で、毎年開催して今回で第6回目になる。

夢甲斐塾からは、現地参加乗り合わせ6名現地集合1名計7名、把握している範囲でオンライン8名総計15名参加した。

前回から松下政経塾卒業生の政治家に対する東京立正中学高等学校の質疑応答などが盛り込まれたが、今回新たに北海道根室高等学校北方領土根室研究会による北方領土の発表と、政治家との質疑応答があり、非常に濃い勉強会になった。

毎回、政治家の方々が自らの志を語る一方、協力して一つの事に向かうという方向になっていないので、今回はこの点を宿題として会を閉じる様な形になった。

補足説明：

入倉：今回はオンラインを含めて500名以上が参加。北海道の女子高生2名が、本当に国のことを考えてくれていると涙が出る想いだった。

酒井：北海道根室高等学校は校舎の屋上から北方領土が見える環境で、大変意識が高い。

入倉：山梨県は海がないので国境の意識は全くない。俺もそうだったが、行って見ると、見えるその場所が本当は領土なのに行けないという現実に気付かされる。本来全国民が意識していなければならないことだと感じさせられた勉強会。

入倉：上甲塾長は自ら主導する形ではもうやらないとのこと。

松下幸之助の想いを受けた松下政経塾の卒業生として、国家百年の計を持つ政治家による取り組みの発表会として第7回を開催するならよいので、あとは君たちに任せるという投げかけで終わったが、野田元首相が「わかりました。やります。」と言わずにズルズルで、その後の懇親会で非難轟々だったが、あれだけエネルギーがあるのだから、また何らかの形になると思う。

上甲先生は既に81歳、いつまで来ていただけるかわからないので、会える機会を逃さず、出来るだけ多くを吸収するようにしてください。

## ■14. その他

### ●第2回 自然に還ろう：酒井

-----配布資料：R051029 共学実践塾公開講演会チラシ.JPG-----

資料に沿って説明

10期の保坂浩輝さんが主催する講演会。

私もチケットを持っているので、購入希望の方はご連絡ください。

### ●夢甲斐クリスマス会について：加藤 15

開催日が12月26日(火)に決定。詳しくは木内さんと相談して決める。

上甲先生にも伝達済み。

補足説明：

酒井：夢甲斐クリスマス会は、元々上甲名誉塾長が清里の萌木の村にプライベートで来られる所へ、折角だからと塾生が集まって、一緒にクリスマスを楽しんでいる。それも、ただクリスマスのタイミングに開催するのではなく、普通クリスマス会を行う日程の後に、そのしつらえを残しておいていただき、翌日や翌々日にお邪魔して、セットを使わせていただくという形で、萌木の村の地域貢献活動に、夢甲斐塾としても協力させていただくという形をとっているため、この様な日程での開催になります。

上甲先生と間近で会話できる珍しい機会になるので、今のうちに予定を。

入倉：正式な事業ではないけれど非常に価値があるイベント。なので、23期生は今年の上甲先生の隣などの特等席に最優先で座れるので是非参加を。